

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

5.15

目次

「しみの広場」	
パラリンピック出場体験レポート	2
エクアドル派遣レポート	
田原市民活動支援センターのページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらしティニュース	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

甘い香りただよ
藤色のカーテン！





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 投稿 パラリンピック出場体験レポート：2ページ
- 投稿 エクアドル派遣レポート：3ページ
- 市民活動支援センター：4・5ページ



カナダバンクーバー2010パラリンピック冬季競技大会

パラリンピック出場体験レポート

アルペンスキー座位の部・スラローム 山本光文さん(六連町)

皆さんこんにちは。山本光文と申します。2003年にチェアスキー競技を始めたところから目標にしていた夢の舞台、パラリンピックに出場してきました。



● 山本光文さんプロフィール
19歳のときに交通事故に遭い両足を切断。28歳でアルペンスキーのポスターを見たのを機にチェアスキーを始める。静岡県湖西市出身、六連町在住。

いざ夢の舞台へ

3月12日(金)に、バンクーバー市内にあるBCプレイス・スタジアムで行われた開会式。超満員のスタジアムに入場したときは、鳥肌が立つほど興奮しました。退場する時にスタンドから「ニッポン、がんばれ」と声をかけられ感動しました。同級生をはじめとする方々からの寄せ書きに書かれた『勇往邁進』の意味は、目標に向かって脇目もふらず勇ましく前進すること。これまでサポートしてくれたスキーチームなど、たくさんの方から応援メッセージをいただき、とてもうれしかったです。



寄せ書きの前で

さあ勝負のとき

私の出場したスラロームという種目は、2本滑った合計タイムで競います。最終日に予定されていたレース日程が大幅に変更となり初日に。最終日に向けて調整していたので、レース当日は焦りと緊張でいっぱいでした。1本目のスタート地点に立ったときは、緊張よりもこれまでの思いが一気にわきあがり、なんとかゴールしたいという気持ちで体がガチガチになってしまいました。1本目は後悔しか残らない内容でしたが、2本目は思い切って自分の力を出し切ることを考えてスタートしました。

その結果、2本目の滑りは自分では合格だったと思います。残念ながら順位は14位で、上位入賞という目標はかないかもしれませんが、満足ののできるパラリンピックでした。



●パラリンピック開会式



●パラリンピック閉会式



●ウィスラー山のオブジェの前にて



●レースで着用したユニフォーム



レースを終えて

レース後に、アルペン競技の会場であるウィスラー山の頂上まで登ると、バンクーバーオリンピックのシンボルともいえる造形物がありました。カナダの先住民族のイヌイットが石を人の形に積み重ねて作ったオブジェ「イヌクシユク」で、希望・友情・歓迎という意味があるそうです。

パラリンピックは、最初から最後まで今までの大会では経験したことのないとても素晴らしいものでした。さすがは4年に1度のビッグイベント。大変なこともたくさんありましたが、この大会を目標にがんばってきて間違いではありませんでした。感動した開会式や閉会式、とても過ごしやすかった選手村、そして夢だったパラリンピックでのレースは、忘れられない貴重な経験となりました。



市民の皆さんへ

まだ田原市に転居してきて間もない私ですが、市民の皆さんからとても温かいご声援をいただき感動しました。良い報告とまではいきませんでした。皆さんからの応援に勇気をいただき無事にゴールすることができました。今後は、皆さんに少しでもパラリンピックを身近に感じていただけるよう活動していけたらと思っています。



青年海外協力隊

エクアドル派遣レポート

田原中学校教諭 鳥居達也さん

私は青年海外協力隊として平成19年6月から南米のエクアドルに派遣され、約2年間の任期を終え田原に帰ってきました。

赴任先は、アマゾン川源流のジャンゲルにある児童数約1000名の小学校で、英語とパソコンの授業を行ってきました。パソコンは学校に一台しかなく、30人でその一台を囲んだり、頻繁に起こる停電で英語教材のCD

が使えなくなったりしました。

苦労も多かったですが、同僚のまさにラテン人らしい陽気さと、子どもたちの素朴な優しさにも助けられました。子どもたちも自由な雰囲気の中、のびのびと授業を受けていたのが印象的でした。子どもたちは午前中で学校が終わると、家で弟や妹の世話をしたり、カカオを干したり、友だちと木に登って果物を採ったり、サッカーをしたりと、たくましく生活していました。

4月からは再び日本の学校に戻りました。このエクアドルの経験を生かし、日本の子どもたちと世界の広さや、多様な価値観、本当の豊かさとは何かなどを一緒に考えていけたらと思います。



●エクアドルの子どもたちと一緒に



●鳥居さん

と、本場の豊



すすめよう 市民協働！

市民協働まちづくり事業補助金



▲「市民協働まちづくり事業補助金公開審査会」(田原福祉センター)でプレゼンテーションを行う市民活動団体

田原市が募集していた「市民協働まちづくり事業補助金」の採択事業が決まりました。この補助金は、市民活動団体が提案・実施する公益的な事業に対し、必要経費の一部が助成されるものです。昨年度からスタートした本補助金制度の財源には、「市民協働まちづくり基金」の収益が活用されています。

今年度の事業は3月から募集が開始され、10団体から提案がなされました。4月29日(木・祝)には、補助採択のための公開審査会が開催され、「市民協働まちづくり会議」から選出された5名の審査員によって審査が行われました。審査では、事業の公益性・先駆性など、8項目の基準に基づき採点されました。

今年度採択された事業は表のとおりです。今後、各団体による事業が順次スタートします。

皆さんも、身近な市民活動にご参加ください。

◎補助金採択事業一覧(得点順)

No.	団体名	事業名	補助要望額
1	たっぷくヘルパーボランティア	認知症サポート講習会地域開催ツアー	100,000 円
2	環境ボランティアサークル 亀の子隊	きれいな海を守る心を育て、思いを広げる環境プログラム	200,000 円
3	里山保全山遊里	みんなで楽しみ未来へつなぐ里山保全活動	105,000 円
4	特定非営利活動法人 たはら広場	シュアスタート研究講座	88,000 円
5	特定非営利活動法人 うたた	あっちこっち de アトリエ・カーグ展	114,000 円
6	特定非営利活動法人 渥美虹の会	福祉啓発事業	130,000 円
7	あつみNPOネットワーク	NPO 人材育成事業	200,000 円
8	「共生のまち」田原市を考える会	第2回「共生のまち」田原市を考える会フォーラム	151,000 円
9	地域自給プロジェクト	地域自給プロジェクト	75,000 円
10	特定非営利活動法人 渥美半島ハイキングクラブ	里山保全・ハイキング・自然観察・ゴミ拾い in 【あつみトレイル】	60,000 円

※詳しくは市ホームページをご覧ください。(http://www.city.tahara.aichi.jp/)

1 たっぷくヘルパーボランティア 代表：酒井修さん

田原福祉専門学校ホームヘルパー科2級を修了した私たちは、実習で体験したことを市民活動に生かせないだろうか話し合ってきました。これから、地域と連携して、福祉について考える取り組みを進めていきたいと思っています。

▶デイサービスでのレクリエーション・ボランティア「みんなで歌おう」の様子(堀切町)



2 環境ボランティアサークル 亀の子隊 代表：鈴木吉春さん

昨年度に引き続いて、補助事業に採択していただきました。本年度も「海の世界を学ぶ会」「西の浜クリーンアップ活動」を充実させ、「きれいな海を守りたい」という心を、より多くの人に広げていきたいと思っています。

▶海岸の美化活動「西の浜クリーンアップ活動」の様子(西山町)



採択団体の「つなぐ」



市民活動 応援します！

各種の支援制度をご活用ください

公益活動に参加する市民のすそ野を広げ、市民参加の担い手づくりを進めることを目的に、「新規団体・人材養成支援制度」として、2種類の補助制度がスタートします。

新規団体活動補助金

仲間を募って新たに始めようとする市民公益活動の経費が支援されます。活動初期の取り組みを支援する制度です。市民活動を始めるきっかけづくりに最適です。

対象事業 市内で実施される「福祉」「まちづくり」「文化やスポーツの振興」「環境保全」「子どもの健全育成」などの活動で、翌2月末日までに完了するもの

対象団体 主に市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体（平成21年4月以降に設立）

補助額 全額（上限3万円）
決定方法 書類審査

募集 6月1日（火）～平成23年1月31日（月）※予算の範囲内

人材養成活動補助金

市民活動団体の活動を担う人材の知識・技術などの養成経費を支援します。団体構成員のスキルアップを目的とする支援制度です。

対象活動 所属する団体の活動に直接反映することが期待できる専門知識・手法などを習得するための講座などで、平成22年度内に受講が完了するもの

応募要件 4月1日現在で、市内の市民活動団体に所属している方が申請者は団体となります。

対象経費 講座などに参加のための旅費・受講料など
補助額 旅費・受講料などの一定額まで全額、それ以上の部分は1/2（補助総額3万円を上限）

決定方法 書類審査
募集 6月1日（火）～平成23年2月10日（木）※予算の範囲内

【申請・問い合わせ先】
市民協働課 ☎23局3504

kyoudou@city.tahara.aichi.jp

市民提案

市の事業を受託してみませんか？

田原市では、「市民協働まちづくり方針」に基づき、今年度から「市民提案型委託事業制度」がスタートします。この制度は、行政が実施すべき性質の市民サービスや管理業務などについて、市と効果的な事業内容を提案した団体が委託契約を結ぶものです。市民協働で事業を実施することにより、少ない経費で高い効果を得ることが期待されています。今回募集されるテーマや応募方法は、以下のとおりです。

募集テーマ①市民協働の情報交流を促進する事業 ▶市民協働課

【提案内容】インターネットを使った情報提供（必須）、情報誌の制作など
【事業費】上限50万円

募集テーマ②里山保全を促進する事業 ▶街づくり推進課

【提案内容】間伐などの技術講習、チェーンソー講習など
【事業費】上限50万円

●募集期間 6月1日～7月9日

●提案内容 上記の募集テーマに即した事業で、平成23年2月28日までに完了する事業

●対象団体 主に市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

●応募方法 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して直接・FAX・Eメールで提出。提案用紙は市ホームページからもダウンロード可（<http://www.city.tahara.aichi.jp/>）

●審査方法 応募団体による担当課への提案内容説明で審査

●応募・問い合わせ先 市民協働課 ☎23局3504 ☎23局0180 ☎kyoudou@city.tahara.aichi.jp

※平成23年度実施の「自由提案型事業」については、別途募集が行われます。



田原市民活動支援センター

市民と市役所でつくるページ♥あなたのニュースも募集中！

① NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週金・土・日曜 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

② このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局1111（内線812）※開設時間のみ ☎23局0180 ☎shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 22
学校生活の一コマ
を紹介

今回は、学校生活の中から、田原中部小学校6年生の社会科授業の様子と、亀山小学校の「魅力ある学校づくり事業」をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原中部小学校

6年生の社会科「戦争と人々の暮らし」

田原中部小学校には、アメリカ合衆国から贈られた「青い目の人形」が残っています。昭和初期から第二次世界大戦前、日本中の学校に1万2000体以上が贈られましたが、今ではおよそ220体にまで減ってしまいました。

6年生の社会科授業で、戦争の悲惨さや人間の弱さと良心を考えるために取り上げ、「戦時中の子どもは、青い目の人形を、どのように思っていたのだろうか」という子どもたちの問いかけから学習が始まりました。資料や戦争経験者からの聞き取りで、当時の田原の人々と戦争との関わりや思いを理解することができたようです。

学習を通して子どもたちからは、「青い目の人形は、学校の宝だ」という感想が聞かれました。今後も、青い目の人形を生かした学習を続け、愛校心や平和を願う心を育てていきたいと考えています。



青い目の人形
(田原中部小学校蔵)



青い目の人形に見入る子どもたち



機織りを教えてもらう様子



昔の半てんを着せてもらう子どもたち

亀山小学校

「魅力ある学校づくり事業」絹糸で機織り

亀山小学校では、平成21年11月にヒノキの香りがする新しい機織り機が届けられました。これまで行っていた蚕の飼育や繭をつかったの生糸引きに加え、布を織る活動ができるようになりました。

子どもたちの期待と興味が高まる中、機織りの活動が始まりました。知識も技術ありませんでしたが、機織り経験がある校区の方々のご指導やご協力を得て、学習の道筋ができました。子どもたちは、「トントンカバリ、トンカバリ」という軽やかな音とともに絹織物ができる機織り機に向かい、地域の方から昔の暮らしぶりを聞いたり、物を作り出す喜びや創意工夫の大切さを学んだりしました。

亀山地域に、古くて新しい文化が一つ誕生しつつある手応えを感じています。

●中学生の職場体験を6月7日月から11日金に行います

市内の事業所で、東部中学校・野田中学校・赤羽根中学校・伊良湖岬中学校・泉中学校の2年生333名が職場体験をします。ぜひ声をかけてあげてください。

なお、田原中学校と福江中学校は11月8日(月)から12日(金)に実施する予定です。



4月18日【日】

緑豊かな
まちを目指して



▲クイズ大会やエコレンジャーショーなどで盛り上がったステージイベント

市民緑花まつりがはなのき広場・田原文化会館周辺で開催されました。フラワー教室や苗木の無料配布などが行われ、約9000名の来場者でにぎわいました。また、フラワー作品コンテストでは、来場者の投票で、小林孝子さん（片浜町）が最優秀賞に選ばれました。

4月7日【水】

気持ちにゆとりを
安全運転で！



▲国道259号、道の駅田原めっくんはうす周辺で実施したキャンペーン

春の交通安全街頭キャンペーンが行われ、田原市交通安全推進協議会など約50名が参加しました。出かける機会が多く交通事故が心配されるこの時期。参加者たちは、「安全運転をお願いします」と笑顔でドライバーに呼びかけました。

4月13日【火】

恋路ヶ浜に咲け
ハマユウの花



▲研究会の会員に教えてもらいながら、ハマユウを植える伊良湖小の児童

渥美青年経済研究会のハマユウの植栽活動が恋路ヶ浜で行われ、伊良湖小学校の4年生から6年生24名も参加しました。児童たちは、「未来に自然を残したい。きれいに咲いてほしいな」と目を輝かせながら、苗を植えていました。



募集

WANTED

田原市臨時職員 (臨時保育士)

▼募集人員
若干名 ▼対象
象 保育士資格がある方 ▼採用期間 9月30日(木)まで ※ただし更新する場合あり ▼勤務場所 市内保育園



▼勤務形態 月曜～金曜日(祝日を除く) ▼賃金 時給1100円(1200円)

※詳細はお問い合わせください。

▼子育て支援課

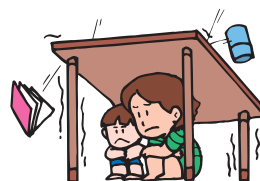
☎ 23局 3513 FAX 23局 3545

田原市防災カレッジ受講者

このカレッジでは、自然災害における基礎知識や、過去の災害を教訓に日ごろの防災対策や災害時の行動について、各専門分野から講師を招きご講演いただきます。「自分の命は自分で守る。自分の家族は自分で守る。自分の地域は自分たちで守る」を実践していただくことを目的に、防災・減災活動で活躍している方や、自然災害の備えに興味がある方を対象に開講します。

▼対象 市内にお住まいで、全4回受講可能な方 ▼定員 100名程度 ▼日時・内容・講師 表のとおり ※講師の都合により変更する場合があります ▼場所 田原文化会館 ▼申し込み 6月4日(金)までに直接または電話にて ▼その他 所定のカリキュラムを修了した方を対象に、田原市防災プランナーの称号を授与 ▼防災対策課

☎ 23局 3548 FAX 23局 0180



田原市防災カレッジ

	日時	内容(予定)
1	6月12日(土) 13:30~15:30	「推進地区活動事例発表」 発表者 ▶ 市内自主防災活動推進地区 「阪神淡路大震災の災害現場から」 講師 ▶ NHK大阪放送局アナウンサー 住田功一氏
2	7月3日(土) 13:30~16:00	「(仮)風水害対策」 講師 ▶ 群馬大学教授 片田敏孝氏 「(仮)災害時の携帯電話」 講師 ▶ NTTドコモ東海 災害担当者
3	10月16日(土) 13:30~16:00	「(仮)地震対策」 講師 ▶ 大学教授 「津波・地震および海底地形」 講師 ▶ 海上保安庁職員
4	平成23年 2月27日(日) 13:30~16:00	田原市防災講演会 「推進地区活動事例発表」 発表者 ▶ 市内自主防災活動推進地区 ※講演会演題や講師については調整中

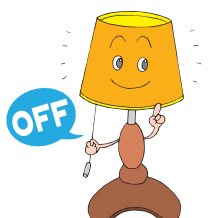
ライトダウンキャンペーン 参加事業所

環境省では、地球温暖化防止のため「ライトダウンキャンペーン」を、毎年夏至の日を中心に行っています。この取り組みは、照明を消すことで、普段いかに多くの電気を使用しているかを実感し、地球温暖化問題について考えようというものです。田原市でもこの取り組みへの参加事業所を募集します。

▼対象 市内事業所、学校など

▼内容 6月20日(日)～7月7日(水)の間、施設照明などを消灯

▼申し込み エコエネ推進室にて配布(市ホームページからもダウンロード可)する登録票に、消灯する施設名や消灯できる時間などを記入のうえ、6月14日(月)までに直接またはFAXにて



▼その他 参加事業所数などの実施結果を、市ホームページにて公表します。

▼エコエネ推進室

☎ 23局 7401 FAX 23局 0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

田原市発明クラブ ボランティアスタッフ

小学4年生から6年生が参加する「田原市発明クラブ」のお手伝いをしてみませんか。

▼対象Ⅱ市内在住または在勤で、子どもたちと活動することが好きな方

▼日時Ⅱ6月～平成23年3月の毎月第2土曜日 午前8時30分～正午 ▼場所Ⅱ田原福祉センターほか ▼申し込みⅡ電話またはFAX・Eメールにて

(FAX・Eメールの場合は住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号を明記)

▼生涯学習課

☎23局3531 FAX22局3811

✉syogaku@city.tahara.aichi.jp

「金とくあなたの町に参ります」出前コンサート」観覧者

NHK「金とくあなたの町に参ります」出前コンサート」の公開録画を行います。この番組は、人気歌手によるコンサートをその地域の人々とのふれあいを交えながら紹介するもので、東海北陸7県で7月16日(金)の午後8時から8時43分に放送される予定です。

▼日時Ⅱ6月26日(土) 午後3時30分～5時30分(午後2時45分開場)

▼場所Ⅱ渥美文化会館 文化ホール

▼入場料Ⅱ無料 ▼出演Ⅱ「ゲスト」

伍代夏子、小金沢昇司 【司会】内

多勝康アナウンサー ▼観覧申し込みⅡ6月7日(月) 必着で郵便往復

はがきにてご応募ください。

●往復はがき記載内容

【往信表面】

〒461-8725 NHK名古屋放送局「出前コンサート」係

【往信裏面】

郵便番号・住所・氏名・電話番号

【返信表面】 郵便番号・住所・氏名

※申込者多数の場合は、抽選のうえ整理券を送付。当選はお一人1枚とし、1枚で2名まで入場可

▼主催ⅡNHK名古屋放送局・豊橋支局、田原市、田原市教育委員会

▼その他ⅡNHKではご応募の際に

いただいた情報を、抽選結果のご連絡のほか、受信料のお願いに使用させていただきます。

▼NHK名古屋放送局事業部

☎(052)952局7070

(平日の午前10時～午後6時)

伍代夏子

小金沢昇司

危険物取扱者試験

第2回

▼試験日Ⅱ7月11日(日) ▼場所Ⅱ名古屋市内・豊橋市内 ▼種類Ⅱ

甲種・乙種全類・丙種

第3回

▼試験日Ⅱ7月18日(日) ▼場所Ⅱ名古屋市内 ▼種類Ⅱ乙種第4

類・丙種

共通事項

▼対象Ⅱ一般 ▼申し込みⅡ6月7

日(月)から16日(水)までに消防課または消防署・各分署にある受験願書に必要事項を記入して提出

▼その他Ⅱテキストおよび事前講習会についてや、4月からは電子申請

ができますので、詳しくはお問い合わせください。

▼消防課

☎23局4074 FAX23局0180

田原市社会福祉協議会に、障害の

障害者の就労支援専門員にご相談ください

生活

田原市社会福祉協議会に、障害の

障害者の就労支援専門員にご相談ください

田原市社会福祉協議会に、障害の

障害者の就労支援専門員にご相談ください

田原市社会福祉協議会に、障害の

障害者の就労支援専門員にご相談ください

田原市社会福祉協議会に、障害の

障害者の就労支援専門員にご相談ください

田原市社会福祉協議会に、障害の

ある方の就労支援などを担当する職員として、今年度から田原市就労支援専門員が設置されました。

●主な業務内容

●障害のある方に対する、就職などの相談・支援

●就職後に定着するための相談・支援

●障害者雇用企業および個人事業所の新規開拓

●事業主に対する障害者雇用などに

関する相談・支援

●関係機関との連携など

希望される方は、お問い合わせください。

希望される方は、お問い合わせください。

希望される方は、お問い合わせください。

希望される方は、お問い合わせください。

希望される方は、お問い合わせください。

▼田原市社会福祉協議会 総務課

☎23局0610 FAX23局3970



守ろう! 電波のルール

電波利用環境保護周知啓発強化期間
6月1日(火)から6月10日(木)まで

電波を使うには免許が必要です。
電波のルールを守りましょう。

▶総務省 東海総合通信局
不法無線局の相談は ☎(052)971局9107
テレビ・ラジオの受信相談は ☎(052)971局9648
HP <http://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/>

広がる未来へ

49

※たはらエコ・ガーデンシティ構想

●エコ・ガーデンシティ構想

地球温暖化対策は、地球の未来を守るために、避けては通れない、重要かつ緊急の課題です。国は温室効果ガスを1990年に比べ、2020年までに25%削減するという高い目標を掲げ、チャレンジを開始しました。こうした中、田原市は「たはらエコ・ガーデンシティ推進計画」のもと、7つの主要施策（プロジェクト）を着実に進めてきました。次回から、これら7つのプロジェクトの最新の情報についてご紹介します。

◆7つのプロジェクト

- 菜の花エコ
- 廃棄物リサイクル
- エコ・エネルギー推進
- 省エネルギー推進
- コンパクトシティ
- グリーン・ネットワーク
- エコ・インダストリー

※また今回から、平成21年度にたはらエコ・ガーデンシティ地域協議会が募集した、地球温暖化防止啓発ポスターの入賞作品を紹介していきます。

♥地球温暖化防止啓発ポスター最優秀賞

●小学校低学年の部

岩本泰知くん（高松小学校）



●小学校高学年の部

渡邊啓介くん（若戸小学校）



●中学校の部

岩崎ゆめさん（田原中学校）



◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人744人・事業所29か所（4月末現在）

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX 23局0180



省資源とリサイクル

25

ごみをしっかりと分別して回収に出すことは、ごみ減量化の取り組みの一つです。今回は、ごみを分別するとき、参考になる材質識別マークをご紹介します。

材質識別マークとは？

製品には、簡単に分別できるように、その素材や成分を表すマークがつけられています。

マークには、法律で義務付けられているものと、法的な表示義務はありませんが、リユース・リサイクルを促進するために、各業界や団体などが定めているものがあります。



ごみを分別するとき迷ったら、これらのマークが付いていないか一度確認してみてもいいでしょうか。



どんなマークがあるの？

法律で表示が義務付けられているマークには、次のようなものがあります。



PET
PETボトル



紙製容器包装



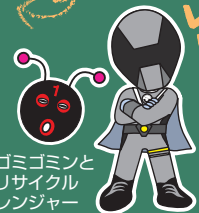
スチール缶



プラスチック
容器包装



アルミ缶



清掃管理課
☎23局35338
FAX 23局0180

交 流 通 信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 2 2 局 0 1 3 8

米国ケンタッキー州ジョージタウン市との姉妹都市提携20周年記念イベントを開催！

ジョージタウン市との姉妹都市提携20周年の節目に開催するイベントなどをご紹介します。

● 交流のきっかけ

旧田原町とジョージタウン市は、まちの規模やトヨタ自動車が生産していることなど共通点がありました。それがきっかけとなり、ジョージタウン市から交流を申し込まれました。

● 姉妹都市提携の調印式

平成2年4月20日、田原市において調印式が行われました。ジョージタウン市は、田原市にとって初めての



▲ 調印式で握手を交わす両市町長

海外姉妹提携都市となりました。

式典には、当時の柴田芳三町長とプレイサー市長をはじめとする関係者が出席しました。

● ジョージタウン市での提携20周年記念イベント



▲ ジョージタウン市長(中央)と田原市公式訪問団

4月17日(土)のイベントには、田原市から副市長や議長など公式訪問団と、たはら国際交流協会の市民海外派遣者、合わせて33名が参加しました。

◆ 田原市での提携20周年記念イベント

● 記念式典

▶ 開催日=6月26日(土) ▶ 会場=田原文化会館

● ジョージタウン展

▶ 開催日=6月19日(土)～7月4日(日) ▶ 会場=中央図書館 ▶ 内容=ジョージタウン市長からのプレゼントやジョージタウンの風景写真などを展示。会場では、ジョージタウンの人へのメッセージを受け付けます。



名古屋地方気象台が大雨や洪水などの警報や注意報を発表する時、現在は複数の市町村で構成された地域に分けて行っています。例えば、愛知県は8地域に分け

◆ 現在の発表区分

● 発表区分の変更日時
● 5月27日(木) 13時

ご紹介いたします。

気象警報・注意報の発表区分が変わるため、今回はその区分などをご紹介します。

◆ 新しい発表区分

5月27日(木) 13時から、市町村ごとに発表されます。例えば、「田原市に対して大雨警報を発表」のように



※ただし、テレビ局やラジオ局によっては、画面に表示できる文字数や文章の読み上げ文字数に制限があるため、これまでどおり、「東三河南部」の区分で発表される場合があります。

● 注意点

発表される気象警報・注意報に関わらず、実際の雨の降り方などに注意しましょう。

▼ 防災対策課 ☎ 23局3548

かんちゃん

防災まめ知識

60

気象警報・注意報の発表区分が変わります



忍びよる巨大地震

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
110



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

城山にあるなぞの城

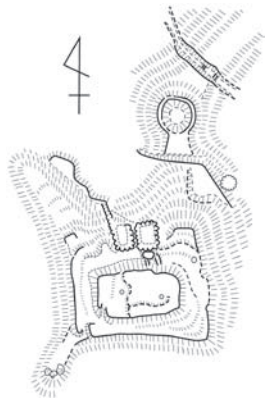
渥美半島の先端近く、堀切町の城山（標高138m）の山頂に、城跡があることを知らない方も多いと思います。この城山、その名のとおり城があったことが想像できます。

『愛知県中世城館跡調査報告書』には「和名の城」として載っていますが、築城の時期や城主についての定説はありません。江戸時代の記録には小笠原新九郎説、徳川秀忠の狩場陣地説、足利義政の家臣烏丸資任説がありますが、後ろ2説については当時

でも疑わしいとしています。

また、『渥美町史』では、南北朝時代の南朝方の砦跡という伝承を紹介し、南朝を支えた伊勢の北畠氏、度会氏とともに、南朝方であった渥美半島の神領地を支配していた松垣氏が築城したのではないかという説を紹介しています。もしも南朝・北朝の抗争に関わった城だとしたら、歴史研究家には魅力的な説です。

城の様子を伝える江戸時代の『三河城址地理志考』という記録に、「城形陣城の如し 山の東南は甚だ峻し 西北も亦麓に下りて後は平なれども、根小屋を用いたる迹もなく 屋布割の形も見えず水の手なき山なれば全く居城に非ず 海上見切の番手の城か、敵船を防ぐ備えにて無用の用と云ふべし 人数七八十を置く所なり」と、山麓には城主の屋敷跡らしきものもない、非常時の陣地的な城では



▲城山の見取図(高田徹氏作図)



▲城山(日出園地から堀切町方面を望む)

ないかと記しています。この本ができた江戸時代終りには、すでに由来が分からない城となっていたのです。さて、山頂付近に現在みられる遺構には、箱を二段積んだような平らな面（曲輪）が確認できます。北側には大きな穴が2つあり、北東方向にも大きな穴があります。その先には山の尾根を切るように堀が横断しています。この堀は尾根伝いに上がってくる敵を防ぐために設けられたと思います。堀、深さともに小規模で役割を果たせるか不安です。城山には、太平洋戦争時に監視哨

が設けられており、大きな穴は大砲を据える施設やその他関連の施設だった可能性もあります。したがって、築城当時の遺構がどれだけ残っているか分かりません。城山が南北朝の城であるという希望も、文献や城の構造の分析からも現在のところ証明できていませんし、戦国時代のものともいえないのです。しかし城主は分からなくても、かつて城が存在したことは間違いないと思います。渥美半島では貴重な城ですが、依然として、なぞの城といわざるを得ません。城主や築城の時期の解明は、今後のお楽しみとして取っておきましょう。

皆さんも、このなぞの城の解明に挑戦してみてくださいがですか。

(増山)

今月の「表紙」

▲潮音寺の境内にただよ う甘い香り。香りの主は、樹齢90年になる一本のフジの木でした。広さ約120㎡ものフジ棚から垂れ下がる花房は、長いものでは1m以上。年々の積み重ねを感じました。さて、私が広報の編集を始めてからの年輪は2年。まだまだ成長途中、がんばらねば。(〇)

【表紙の写真】潮音寺(福江町)のフジ